

八峰白神ジオパーク

連載 110回



事務局

八峰町産業振興課 ジオパーク推進係
☎ 0185 (76) 4605 FAX 0185 (76) 2203
HP <http://www.shirakami.or.jp/~happo-sh-geo/>



奇岩!? 今回は岩の話です!!

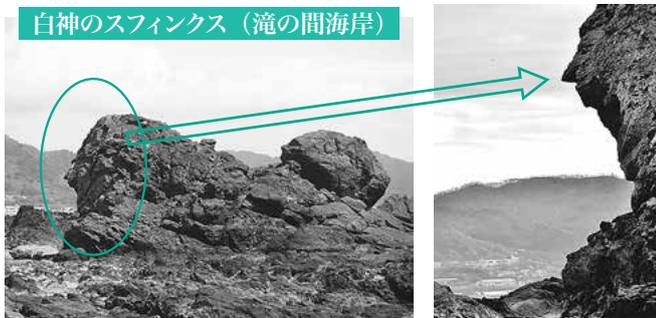


ジオガイド養成のちらしを全戸配布しています! チェックしてみてください!

ジオサイトを見に行こう! ジオ知識

「ジオパーク」と聞くと石や岩を1番に思い浮かべる方も多いと思います。八峰白神ジオパークには、シンボルとしている奇岩があります。

白神のスフィンクス (滝の間海岸)



まるで人の顔のように見えませんか。この岩は凝灰角礫岩で、日本海が急速に拡大した時代に形成されました。その頃、たくさんの海底火山が噴火して溶岩が流れ出し、火山灰と水は混ざり合って海底にできた溶岩の上に沈んでいきました。流れ出した溶岩は、いろいろな成分と結びついて固い変質安山岩に、海底に沈んだ火山灰は緑色の凝灰岩となり重なっていきました。やがて海面から姿を現した岩石は日本海の荒波等によって、固い溶岩の部分は残り、やわらかい凝灰岩の部分が削られることで奇岩ができました。

そのほかにも、魚の頭部に見える魚岩や蛙岩と呼ばれる岩もあります。これは、泊海岸（鹿の浦展望所の真下あたり）にあります。この岩も、凝灰角礫岩で構成されています。ほかに柱状節理や海食洞も鹿の浦展望所の崖下で観察することができます。



泊海岸 (魚岩)



全国では、男鹿半島の「ゴジラ岩」、隠岐の島にある「ローソク島」などが有名です。どちらもジオパークに認定されており、奇岩をつくった大地の動きやそのうえで生きていた人の暮らしを学び楽しむことができます。

これらの奇岩といわれる岩は、もちろん人が作ったものではありません。自然によって作られたものです。不思議な形の岩を見つけて名前を付けてみるのも面白いかもしれません。



Topics

2020年度もジオパーク!



ふたつ森



かじま

① ジオガイド養成講座 スタートします!

八峰白神ジオパークでは、協議会認定のジオパークガイドを養成します。

募集要項を全戸配布していますのでチェックしてください!

② 新しいパンフレットを 作成します!

ジオストーリーを決定し、既存のパンフレットより、もう少し細かい内容を書いたパンフレットを作成する予定です!

③ 出前授業や講座で ジオパークを届けます!

町内小中学校への出前授業や、町民の皆さんへの講座や講演会を計画していきます。

お知らせの際にはぜひご参加ください!

このほかにもいろんな活動を進めていきます!